

受付番号：2020-1-321

課題名：糖尿病および肥満患者における血漿レプチンおよび血漿可溶性レプチン受容体定量に関する後方視的な観察研究

1. 研究の対象

東北大学病院糖尿病代謝科に 2025年7月までに入院もしくは外来受診し、採血を行った20歳以上の患者

2. 研究目的・方法

レプチンと可溶性レプチン受容体は食欲の制御に関与するホルモンである。体内のエネルギーバランスに応じて増減することは知られているが、メカニズムの全容解明には至っていない。レプチンも可溶性レプチン受容体も血液中に存在することが知られており、市販の検査試薬を用いて測定することができる。今回の研究では、2025年7月までに入院もしくは外来受診し、採血を行った20歳以上の糖尿病や肥満症患者の過去の診療記録から患者情報を抽出するとともに血液中のレプチンと可溶性レプチン受容体の濃度を測定し、両者を照らし合わせて統計解析を行う研究である。
研究期間：2015年10月(倫理委員会承認後)～2025年7月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

下記(1)～(4)の調査項目を過去の診療記録(カルテ)から抽出します。(1)基本情報:年齢、性別、身長、体重 (2)病歴:糖尿病歴有無、糖尿病合併症有無 (3)治療内容:インスリン、GLP1受容体作動薬、経口糖尿病治療薬などの使用状況 (4)臨床検査:肝機能、腎機能、電解質、脂質、血算、血糖、HbA1c、ケトン体、インスリン、Cペプチド、甲状腺機能、副腎機能、尿検査。

試料：血液

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

本学単独研究

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1

022-717-7611

東北大学病院 糖尿病代謝科 高橋圭

研究責任者：東北大学病院 糖尿病代謝科 片桐秀樹

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合